
横浜港の上半期取扱貨物量1.6%増、完成自動車伸び

Edited By LogisticsToday On 2018/09/27

横浜市港湾局は26日、横浜港の2018年上半期（1-6月）の港湾統計（速報）を公表した。上半期の取扱貨物量は5742万トンで前年同期に比べて1.6%増となった。

外貿貨物が好調で3778万トン（5.8%増）となった。輸出は1633万トン（7.4%増）、主に完成自動車、産業機械が伸びた。輸入は2145万トン（4.7%増）で、原油、完成自動車などが増加に寄与した。なお、完成自動車の輸入は63%増と大幅に伸び、品種別順位で前年の20位から11位に急上昇している。

コンテナ数は148万TEUで2.4%増。外貿コンテナが好調で133万TEUと3.1%増え、輸出は71万TEU（3.1%増）、輸入は62万TEU（3.1%増）だった。外貿コンテナのうちトランシップコンテナ取扱個数は、月別で見ると2016年6月から24か月連続で増加した。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/326484>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.